

命から命へ、未来へのメッセージ

小出裕章氏講演会

原発事故と この国の行方

2019年5月24日（金）開場18時30分／開演19時
宮崎市民プラザ（オルブライトホール）
前売800円・当日1000円

「私がなぜ原発に反対するかと言えば、燃料がウランであり、それを核分裂させる限り、核分裂生成物という「死の灰」を否応なく生み出すからです。

現在の原発の標準発電量である一〇〇万キロワットを発電させるためには、一年間の運転で約一〇〇〇キロ、広島原爆で燃えたウランは八〇〇グラムですから、その一二〇〇倍のウランを燃やさなければなりません。当然、燃やしただけの死の灰が出るのですが、それを「無」にする方法を残念ながら人類は持っていないません。おそらく未来永劫、見つからないのではないかと私は思います。

『原発はいらない』（幻冬舎ルネッサンス新書）より

小出裕章氏
(こいで・ひろあき)
プロフィール

1949年東京生まれ。元京大原子炉実験所助教、原子核物理学者。原子力の危険性に気づき、伊方原発裁判、人形峠のウラン残土問題、JOC臨界事故などで、放射線被害を受ける住民の側に立ち、原子力の専門家の立場から、その危険性を訴え続けている。著書に『隠される原子力・核の真実—原子力の専門家が原発に反対するわけ』（創史社）、『放射能汚染の現実を超えて』（河出書房新社）、『原発のウソ』（扶桑社新書）など多数。

主催：小出裕章さんの話を聞く会 問合せ：080-5272-2587（青木）
080-5207-2253（山下）

駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



写真：2011年2月3日、数百km先までたなびく新燃岳噴煙
米航空宇宙局（NASA）地球観測衛星 Aqua

小出裕章氏講演会呼びかけ人

(50音順)

青木 幸雄 宮崎の自然と未来を守る会
粟生山知枝 空と大地の会事務局
芥川 恵子 自由業
芥川 仁 写真家
あさみ智子 カフェ山猫
海土野友美 主婦
飯干 富生 国富町議会議員
池山 弘徳 詩人
伊地知真知子 県労連
一政 孝行 川内原発再稼働を考える会・日向
岩切 宜子 森のこども園
上田 節子 宮崎市民
宇都宮郁子 主婦
海野 譲生 社民党日向総支部代表
江良 尚裕 コーブみやざき労働組合
太田 清海 原水禁宮崎県民会議議長・県議
太田 龍 前延岡市議会議員
大野由美子 農業
岡本 真美 母親
小川 渉 宮崎の自然と未来を守る会
鬼塚 良昭 影刻家
角田 達雄 農業
角田由美子 農業
龜田 高秀 宮崎県生協連会長
川辺 薫 宮崎の自然と未来を守る会

川本 真明 宮崎センター合唱団
菊池 和彦 さよなら原発小林連絡会
木佐貴文代 主婦
北波恭一郎 会社員
久保田早紀 市議団事務局長
黒木 和也 元九電社員
郷田美紀子 薬剤師
興梠 智一 陶芸家
小玉 直也 アースウォーカーズ
兒玉理恵子 主婦
小沼 新 宮崎大学名誉教授
近藤 泰作 畜産業
坂元 修一 農業
迫田 和子 コーブみやざき常勤理事
眞原 信義 徒歩を楽しむ会代表
眞原 佐藤 誠 宮崎県革新懇意事務局長
澤田 初枝 新婦人
塙川 塩川 明美 教師

塙川 陽一 自営
白江 好友 民主青年同盟宮崎
須股 一信 さよなら原発都城・北諸
瀬戸山 修 さよなら原発都城・北諸
田上 俊光 串間エコツーリズム推進協会長
竹下 主之 反原発ネット串間
田崎 佳子 居宅介護支援事業所だんだん
橋 智子 僧侶
田中 光寛 自然エネルギー学習会
谷口麻梨紗 主婦
田原 喜恵 ショップ経営
田村 直美 宮崎市民
筒井 紀夫 都城市議会議員
手束 浩二 金曜ウォーク
徳重 淳一 宮崎市議会議員
登尾 唯信 僧侶
中川 修治 NPO市民ソーラー・宮崎副理事長
中川 義行 社民党県連幹事長・宮崎市議
中島 康俊 自然と子どもの未来を守る会
中村 哲郎 森の葉（ひこばえ）代表
長友 幸子 アイ女性宮崎議長・延岡市議

西村 礼子 野の花館
野川喜美子 NPO法人皆が新ひはなつて運営
野地 一行 宮崎県労組会議議長
則松 和恵 野の花館
則松 節男 野の花館
橋口 定 団体職員
橋本 由里 綾町議会議員
濱崎 恵子 主婦
早川 ゆり 農業
樋口のり子 平和委員会
日野原義文 野の花館
平野千恵子 新婦人宮崎県本部会長
樋脇 圭 農業
福島 勝郎 都城市議会議員
福田久美子 天空カフェジール
福本 勇 農業
藤崎 芳洋 社会福祉法人なのはな村
藤田 元義 宮崎県平和委員会
藤原 宏志 宮崎大学名誉教授
古澤 幸弘 自営業
宝蔵 俊二 自然と子どもの未来を守る会
前田 昌之 宮崎の自然と未来を守る会
前田 裕司 弁護士
前屋敷 勇 フリー
真方 和男 コーブみやざき理事長

松川三和子 農業
松田 浩一 宮崎市議会議員
松田 幸子 弁護士
松原 学 松原農園
松本 哲也 延岡市議会議員
松本めぐみ 主婦
真鍋 典子 川内原発再稼働を考える会・日向
水元 正満 国富町議会議員
溝手 裕子 母親
満行 潤一 社民党県連代表・県議
峰 瑞枝 主婦
宮崎 信行 自営
宮崎真利子 サービス業
村岡 史郎 県労連事務局次長
矢野 弘子 新婦人宮崎県本部事務局長
山下 賢児 宮崎の自然と未来を守る会
山下 芳数 南那珂河と牛育種組合組合長
山路まり子 食の探検家
山田希一郎 県労連議長
弓削 恵一 西諸地区労組会議議長
吉田 宗充 食用甘藷農家
渡辺 純子 宮崎センター合唱団
渡辺 広明 フリー
和田 信利 元鉄道員の会
和田 裕子 コーブみやざき会長



政 府の成長戦略の目玉だった原発輸出政策が次々に破綻です。米原発メーカーの買収に手を染めた東芝の経営危機は象徴的でしたが、日本企業の受注が決まっていたベトナム、リトアニアでも建設計画が撤回され、三菱が有望としていたトルコでの原発建設も挫折です。そして日立がイギリスで進めていた原発建設も、福島事故以降の安全対策強化から事業費が巨大化し、資金と採算の目途がたたないとして凍結、事実上撤退です。

今、世界の流れは脱原発、そして再生可能エネルギーです。しかし、政府はまだ原発にしがみつこうとしています。新しい小型原発を開発し、高速炉開発も進めるというのです。はたして世界でダメなものが日本ではいいのでしょうか。

原発を動かせば必ず放射能が生まれ、核のごみが生まれます。核のごみは行き場もなく、私たちの世代だけでなくずっと先の世代まで脅かし続けます。巨大事故のリスクも増大し、川内原発などで重大事故が起これば、ふる里だけでなく国すら失いかねません。